

父さんへ

ラジオネーム：松崎

父さん、久しぶりだね。そっちでも元気じゃってさなかな。

父さんのことならなんかに過っつてるのを想像しちゃう。

じっちは雪がすいすい、もう毎日のように雪かきにおわたりさよ。

雪が降っては雪かき、雪が降っては雪かきの繰り返し。

腰も痛いし、もう僕も若くないんだなと実感するよ。

そして、この季節になると父さんの思い出が蘇ってね、この手紙を

書こうと思ったんだ。

小学生くらいの時は冬になると毎年の様に一緒に近くの公園に行っっ、

雪遊びしていたよね。覚えているかな？

ものすごく大きいソリに二人で乗ってさ、父さんが

「じっからつかまっつてなよ」そっつって僕を後ろから押さえるようにっつ

雪山を滑り降りたね。あのスピードで風を切る感覚、本当にやみつきになって

山をのぼっては滑るを繰り返し続けたよね。あの時は父さんに無茶言っつ

何度も突き合わせてしまったね。大人になってからだっつわかるよ。一緒に遊ぶ

方もけっつこう大変だったかもね。

そして、この雪遊びの後のもう一つの楽しみと言えば、家に帰った後に食べる

父さんが作ったラーメン。何の変哲もない普通のインスタントラーメン

なんだけど、最後に溶き卵を入れるのがポイントだね。

あの溶き卵がラーメンに特別感を演出してくれるんだ。

冷えた体もあのラーメンでポカポカになったよね。

いつもは中々仕事で忙しい父さんとこうして遊べるのが嬉しくて嬉しくてね。

僕にとって冬は大好きな季節だよ。

そして、今僕には5歳になる子どもがいる。父さんが僕にしてくれたように

一緒に雪遊びしているよ。子供は大喜び。何回もソリ滑りを

一緒にやらせて、体力的にも厳しい時はあなはよ、

子どもが喜んでる顔を見るよ、何よりも嬉しいよね。また、何となく当時の

父さんもこんな感覚だったのかな？と共感できる部分ありなっしょ、

それもまた何か良いですね。

父さん、じっからは多分です。この季節になると、毎年父さんとの

思い出が蘇ります。

そこちでも元気でね。

僕は、これからまた雪かきです。

〈ファンタードリンク／KARA〉